



さつき沼バイオトープ

水鳥ゾーン

人工浮島

Artificial floating island 人工浮島 인공 떠 다니는 섬



ともと農業用のため池としてつくられたさつき沼は、岸辺にヨシなどの水草が生える浅瀬がわずかしかなかった。このため、水鳥が繁殖や休息をする場所が中央にある島などに限られています。ところが、最近、この島が水の侵食などによって小さくなってしまいました。ヨシなどが生える浅瀬は、小魚やエビ、トンボの幼虫であるヤゴなどの昆虫が住む場所としても重要です。



人工浮島は、竹のフレームに古布団を網やロープで固定し、ペットボトルの浮力体をつけて沈まないようにしたものです。布団にはヨシが植えられています。これにより、水鳥の休息・繁殖する場所を新に作り出すことができます。また、ヨシは水中に長い根を下ろすため、人工浮島の下は小魚やエビ、ヤゴなどの昆虫の休息・繁殖の場となります。さらに、ヨシは水質の浄化作用があるため、ヨシの浮島を水に浮かべることで、アオコの発生を押さえ、濁りが減るなどの水質改善効果が期待できます。